



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月12日

上場会社名 株式会社クラレ 上場取引所 東
コード番号 3405 URL <https://www.kuraray.com/jp-ja/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川原 仁
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 (氏名) 滝沢 慎一 (TEL) 03-6701-1070
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	593,424	△3.5	46,358	△37.3	40,089	△43.0	22,784	△51.1
2024年12月期第3四半期	614,834	7.0	73,923	19.8	70,341	21.8	46,634	27.8

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 9,103百万円(△82.4%) 2024年12月期第3四半期 51,598百万円(△49.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	71.35	71.31
2024年12月期第3四半期	140.83	140.73

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	1,293,953	744,845	56.3
2024年12月期	1,291,238	781,790	59.2

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 728,080百万円 2024年12月期 764,012百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	27.00	—	27.00	54.00
2025年12月期	—	27.00	—		
2025年12月期(予想)				27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	810,000	△2.0	60,000	△29.5	53,000	△35.0	23,000	△27.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社 (社名) Nelumbo Inc.
除外 1社 (社名) クラレクラフレックス株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期 3Q	324, 863, 603株	2024年12月期	324, 863, 603株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3Q	16, 786, 287株	2024年12月期	996, 185株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年12月期 3Q	319, 316, 894株	2024年12月期 3Q	331, 146, 987株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 5ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
(4) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当	6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計方針の変更)	11
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(セグメント情報等の注記)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2025年1月1日～2025年9月30日)における世界経済は、米国の関税政策などにより先行き不透明な状況が続きました。日本経済は内需が底堅さを維持したものの、外需の低迷により減速の兆しが見られました。米国経済は不確実性の高まりを背景に消費が停滞し、成長が鈍化しました。欧州経済は緩やかな拡大基調を維持したものの、依然として低成長が続きました。中国経済は政府の景気刺激策により下支えされてきた個人消費に陰りが見られました。

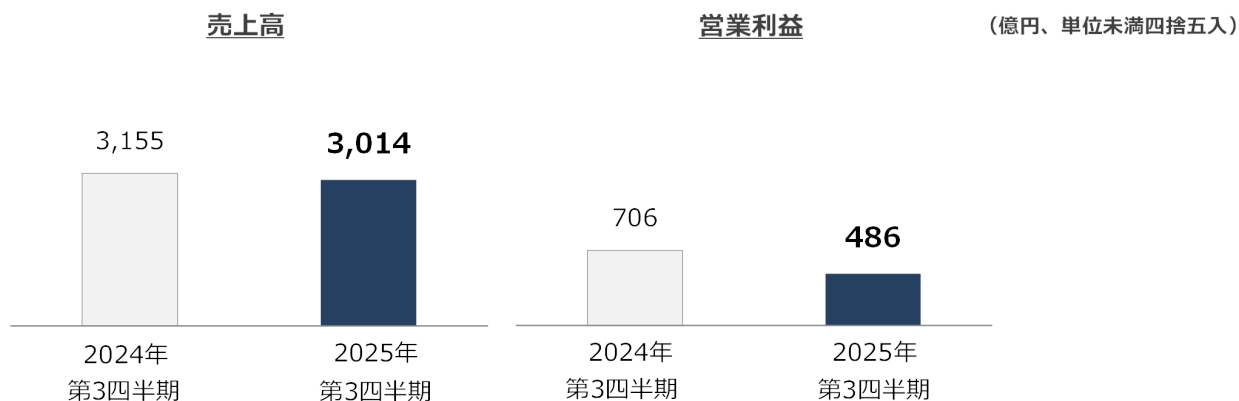
かかる環境下、当社グループの業績においては、売上高は前年同期比21,410百万円(3.5%)減の593,424百万円、営業利益は27,564百万円(37.3%)減の46,358百万円、経常利益は30,252百万円(43.0%)減の40,089百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は23,849百万円(51.1%)減の22,784百万円となりました。在庫評価差額のマイナス影響、販売数量の減少などにより、いずれも減益となりました。

(単位:百万円)

	2024年度 第3四半期 連結累計期間		2025年度 第3四半期 連結累計期間		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ビニルアセテート	315,504	70,594	301,394	48,560	△14,109	△22,033
イソプレン	56,076	△5,569	58,501	△2,178	2,425	3,390
機能材料	152,329	9,304	148,490	6,321	△3,839	△2,982
繊維	46,196	2,189	43,731	1,295	△2,465	△894
トレーディング	48,235	4,093	49,051	4,225	815	132
その他	37,073	1,905	31,907	1,463	△5,165	△441
消去又は全社	△40,580	△8,594	△39,651	△13,330	928	△4,735
合計	614,834	73,923	593,424	46,358	△21,410	△27,564

[ビニルアセテート]

当セグメントの売上高は301,394百万円(前年同期比4.5%減)、営業利益は48,560百万円(同31.2%減)となりました。欧州経済の停滞等により想定したほど販売数量は増えず、また利益面では在庫評価差額や原燃料価格上昇によるマイナス影響がありました。



ポパール樹脂：販売数量は前年の欧州向け物流の混乱に起因した特需が一巡したことに加えて、欧米中心に需要が低調となったことから減少しました。利益面では在庫評価差額や原燃料価格上昇によるマイナス影響がありました。なお、米国工場において、外部購入ユーティリティの供給停止や一部製造設備の不具合が発生し、製造を一時停止しました。

光学用ポパールフィルム：販売数量は中国の家電買替支援策などを背景に順調に推移していたものの、当第3四半期に入り、サプライチェーンにおける在庫調整の影響を受けました。利益面では在庫評価差額によるマイナス影響がありました。

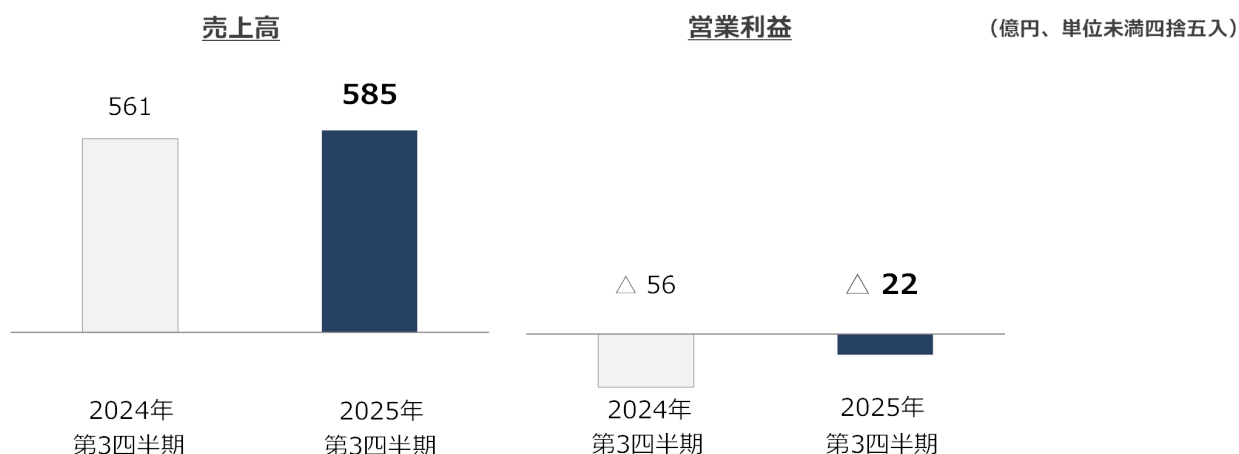
高機能中間膜：特殊アイオノマーシート〈セントリグラス〉は米州を中心に販売が順調に推移しましたが、PVBフィルムはアジアを中心に競争環境の厳しさが増しており、建築用途及び自動車用途ともに販売数量が減少しました。

水溶性ポパールフィルム：欧州を中心に個包装洗剤の需要が低調となり、販売数量は横ばいとなりました。

EV OH樹脂〈エバール〉：食品包装用途は欧州・アジアで想定したほど販売数量が増えませんでした。自動車用途は堅調に推移し、全体として販売数量は増加しました。一方で、利益面では在庫評価差額や原燃料価格の上昇によるマイナス影響がありました。

[イソプレン]

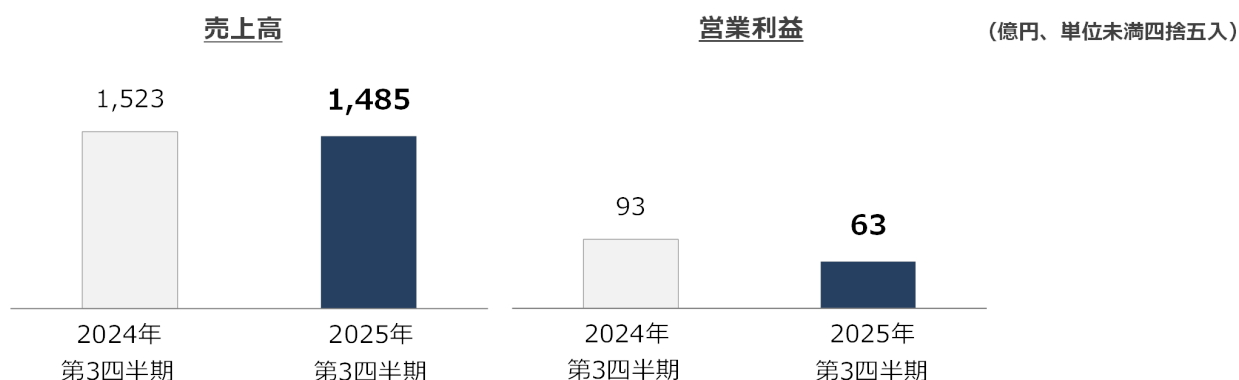
当セグメントの売上高は58,501百万円（前年同期比4.3%増）、営業損失は2,178百万円（前年同期は営業損失5,569百万円）となりました。タイ拠点の稼働安定及び当該拠点を活用した拡販が業績改善に寄与しました。



イソプレンケミカル・エラストマー：販売数量の増加及び販売構成の改善が進みましたが、イソプレンケミカルは上期に米国関税政策の影響により需要の前倒しがあり、当第3四半期はその反動により調整局面となりました。また、エラストマーは米国関税政策により欧州市場等においてアジアの競合メーカーとの競争が激化しました。耐熱性ポリアミド樹脂〈ジェネスタ〉：電気・電子用途の需要が回復し、また自動車用途での拡販も進み、販売数量が増加しました。

[機能材料]

当セグメントの売上高は148,490百万円（前年同期比2.5%減）、営業利益は6,321百万円（同32.1%減）となりました。米国寒波や生産トラブル等による業績へのマイナス影響がありました。



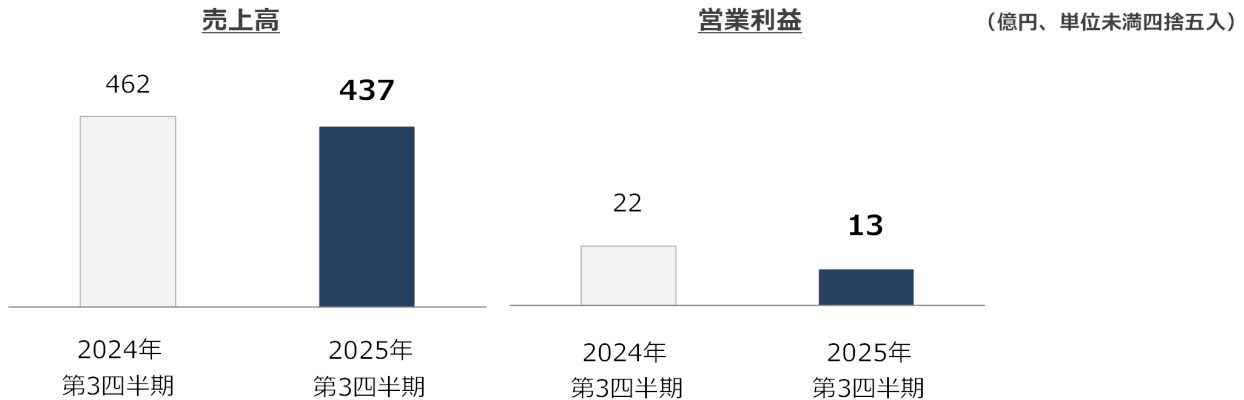
メタクリル：2025年7月からメタクリル酸メチル及び一部の川下製品の生産能力を縮小したことに加えて、一時的な生産トラブルがあり販売数量が減少しました。

メディカル：審美治療用歯科材料の販売が欧米を中心に引き続き好調に推移しており、今後の拡販に向けたマーケティング強化を進めました。

環境ソリューション：活性炭の販売数量は増加したものの、米国関税政策や景気の先行き不透明感から一部顧客において購入時期を見直す動きがみられ、想定数量には届きませんでした。また、2024年12月に珪藻土、パーライト事業を譲渡した影響もあり、減収となりました。利益面では米国寒波や生産トラブルによるマイナス影響がありました。

〔繊維〕

当セグメントの売上高は43,731百万円（前年同期比5.3%減）、営業利益は1,295百万円（同40.8%減）となりました。欧州経済の停滞やEVの生産調整等による影響を受けました。

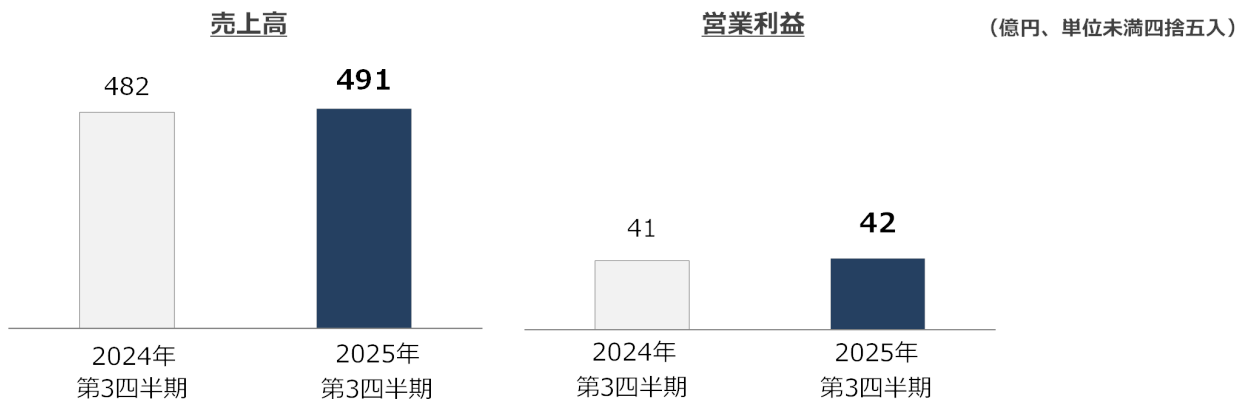


人工皮革〈クラリーノ〉：欧州市場での需要低迷や中国経済の成長鈍化、EVの生産調整の影響等により、ラグジュアリー用途及び自動車用途を中心に販売数量が減少しました。

繊維資材：欧州の建材用途などが引き続き低調に推移しました。また、利益面では在庫評価差額のマイナス影響がありました。

〔トレーディング〕

当セグメントの売上高は49,051百万円（前年同期比1.7%増）、営業利益は4,225百万円（同3.2%増）となりました。

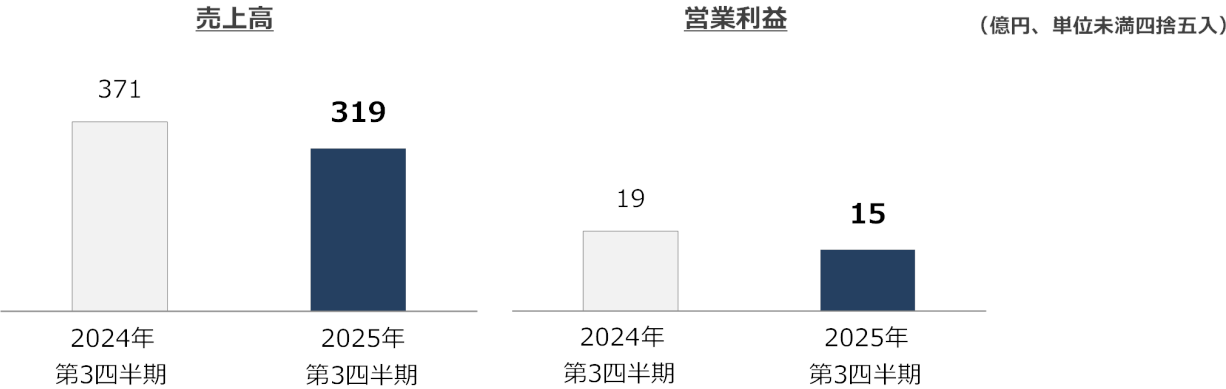


繊維関連事業：スポーツ・アウトドア衣料用途が順調に推移しました。また、高機能原糸や環境対応商品といった高付加価値品の拡販を進めました。

樹脂・化成品関連事業：アジア市場を中心に販売が拡大しましたが、輸入品販売で交易条件の悪化による影響を受けました。

[その他]

その他事業の売上高は31,907百万円（前年同期比13.9%減）、営業利益は1,463百万円（同23.2%減）となりました。



(2) 財政状態に関する説明

総資産は、受取手形、売掛金及び契約資産の減少9,329百万円及び投資有価証券の減少5,012百万円等の一方、棚卸資産の増加15,732百万円及び有形固定資産の増加6,318百万円等により、前連結会計年度末比2,714百万円増の1,293,953百万円となりました。負債は、支払手形及び買掛金の減少12,792百万円及び未払法人税等の減少6,408百万円等の一方、有利子負債の増加54,322百万円及び未払費用の増加5,756百万円等により、前連結会計年度末比39,659百万円増の549,107百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加5,417百万円等の一方、自己株式の増加28,053百万円及び為替換算調整勘定の減少12,466百万円等により、前連結会計年度末比36,944百万円減の744,845百万円となりました。自己資本は728,080百万円となり、自己資本比率は56.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績及び足元の事業動向を踏まえ、2025年8月8日に公表した2025年12月期通期(2025年1月1日～2025年12月31日)の業績予想を次のとおり修正します。

2025年12月期 通期連結業績予想数値の修正

(2025年1月1日～2025年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 840,000	百万円 75,000	百万円 69,000	百万円 33,000	円 銭 103.33
今回修正予想 (B)	810,000	60,000	53,000	23,000	74.66
増減額 (B－A)	△30,000	△15,000	△16,000	△10,000	
増減率 (%)	△3.6	△20.0	△23.2	△30.3	
(参考) 前年実績 (2024年12月期)	826,895	85,081	81,480	31,724	96.33

また、予想の前提としている平均為替は米ドル149円、ユーロ168円、国産ナフサ68千円／kl、米国天然ガス3.49ドル／MMBtu、欧州天然ガス39ユーロ／MWhとします。

注：上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なることがあります。

(4) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益配分を経営の重要課題と位置付け、「親会社株主に帰属する当期純利益に対する総還元性向50%以上、1株当たり配当金の維持・増額、自己株式取得の継続的实施を目指す」を株主還元方針としています。この方針に基づき、2025年度の年間配当金額については、中間配当及び期末配当予想をそれぞれ1株27円としており、1株当たり年間配当金（予想）は54円となる見込みです。

また、2025年10月7日にお知らせしましたとおり、2025年5月14日開催の取締役会決議に基づき、2025年10月6日までに自己株式16,936千株、29,999百万円の取得を完了しました。これらにより、2025年度の総還元性向（予定）は約204%となります。

なお、2025年11月12日開催の取締役会において、自己株式16,900千株（普通株式、消却前の発行済株式総数に対する割合5.20%）の消却を決定しました。消却は2025年11月28日付で実施予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	118,068	116,383
受取手形、売掛金及び契約資産	166,589	157,260
有価証券	3,624	1,368
商品及び製品	170,489	184,914
仕掛品	19,974	21,675
原材料及び貯蔵品	66,365	65,973
その他	21,109	28,178
貸倒引当金	△959	△1,068
流動資産合計	565,262	574,684
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	118,633	116,478
機械装置及び運搬具（純額）	292,153	273,073
土地	19,016	17,675
建設仮勘定	59,824	86,331
その他（純額）	50,757	53,144
有形固定資産合計	540,385	546,703
無形固定資産		
のれん	53,591	51,003
顧客関係資産	27,720	23,554
その他	34,586	33,526
無形固定資産合計	115,898	108,083
投資その他の資産		
投資有価証券	29,890	24,878
退職給付に係る資産	4,020	4,160
繰延税金資産	21,485	20,438
その他	14,388	15,095
貸倒引当金	△93	△91
投資その他の資産合計	69,692	64,480
固定資産合計	725,975	719,268
資産合計	1,291,238	1,293,953

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	59,561	46,768
短期借入金	23,850	43,870
コマーシャル・ペーパー	-	24,000
1年内償還予定の社債	10,000	-
1年内返済予定の長期借入金	18,146	32,076
未払費用	20,394	26,151
未払法人税等	10,094	3,685
賞与引当金	10,772	11,932
その他	45,413	37,699
流動負債合計	198,231	226,182
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	142,286	148,659
繰延税金負債	24,385	24,169
退職給付に係る負債	31,417	33,054
その他	63,127	67,041
固定負債合計	311,216	322,924
負債合計	509,448	549,107
純資産の部		
株主資本		
資本金	88,955	88,955
資本剰余金	87,124	87,157
利益剰余金	396,752	402,169
自己株式	△1,462	△29,516
株主資本合計	571,369	548,766
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,684	7,624
繰延ヘッジ損益	127	△91
為替換算調整勘定	183,693	171,227
退職給付に係る調整累計額	136	553
その他の包括利益累計額合計	192,642	179,313
新株予約権	270	229
非支配株主持分	17,507	16,535
純資産合計	781,790	744,845
負債純資産合計	1,291,238	1,293,953

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	614,834	593,424
売上原価	407,264	408,970
売上総利益	207,570	184,454
販売費及び一般管理費		
販売費	34,289	35,549
一般管理費	99,358	102,547
販売費及び一般管理費合計	133,647	138,096
営業利益	73,923	46,358
営業外収益		
受取利息	2,779	1,658
受取配当金	520	525
持分法による投資利益	211	252
その他	1,287	835
営業外収益合計	4,800	3,272
営業外費用		
支払利息	2,082	2,025
その他	6,299	7,516
営業外費用合計	8,381	9,541
経常利益	70,341	40,089
特別利益		
投資有価証券売却益	1,524	3,007
受取保険金	-	690
特別利益合計	1,524	3,698
特別損失		
操業休止関連費用	-	3,905
固定資産廃棄損	737	1,036
固定資産売却損	-	1,022
事業整理損	3,615	890
減損損失	2,311	-
特別損失合計	6,664	6,854
税金等調整前四半期純利益	65,202	36,932
法人税、住民税及び事業税	22,249	12,348
法人税等調整額	△3,656	1,975
法人税等合計	18,593	14,323
四半期純利益	46,608	22,608
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△25	△175
親会社株主に帰属する四半期純利益	46,634	22,784

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	46,608	22,608
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	811	△1,059
繰延ヘッジ損益	△176	△316
為替換算調整勘定	4,131	△12,400
退職給付に係る調整額	131	416
持分法適用会社に対する持分相当額	89	△144
その他の包括利益合計	4,989	△13,505
四半期包括利益	51,598	9,103
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	51,164	9,456
非支配株主に係る四半期包括利益	433	△352

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年5月14日開催の取締役会において自己株式の取得を決議し、2025年10月6日までに自己株式16,936千株、29,999百万円の取得を行いました。この取得等により、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が28,053百万円増加し、当第3四半期連結累計期間末において、自己株式が29,516百万円となっています。

なお、当該決議に基づく自己株式の取得については、2025年10月6日をもって終了しています。

(会計方針の変更)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、当第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	59,613 百万円	58,669 百万円
のれんの償却額	3,683	3,869

(セグメント情報等の注記)

(セグメント情報)

I. 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビニルア セテート	イソ プレン	機能材料	繊維	トレー ディング	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	301,861	42,892	148,594	42,734	47,386	583,470	31,364	614,834	—	614,834
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	13,643	13,183	3,735	3,461	849	34,872	5,708	40,580	△40,580	—
計	315,504	56,076	152,329	46,196	48,235	618,342	37,073	655,415	△40,580	614,834
セグメント利益 又は損失(△)	70,594	△5,569	9,304	2,189	4,093	80,612	1,905	82,518	△8,594	73,923

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンジニアリング事業等を含んでいます。

2. セグメント利益又は損失の調整額△8,594百万円には、内部取引消去3,390百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△11,985百万円が含まれています。全社費用の主なものは、提出会社の基礎研究費です。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「機能材料」セグメントにおいて、減損損失3,527百万円を計上しています。なお、「機能材料」セグメントにおける当該減損損失のうち2,806百万円については、当第3四半期連結累計期間において、特別損失の事業整理損に含めて表示しています。

II. 当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビニルア セテート	イソ プレン	機能材料	繊維	トレー ディング	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	287,736	44,837	145,013	40,614	48,092	566,294	27,130	593,424	—	593,424
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	13,658	13,664	3,476	3,116	958	34,875	4,776	39,651	△39,651	—
計	301,394	58,501	148,490	43,731	49,051	601,169	31,907	633,076	△39,651	593,424
セグメント利益 又は損失(△)	48,560	△2,178	6,321	1,295	4,225	58,224	1,463	59,688	△13,330	46,358

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンジニアリング事業等を含んでいます。

2. セグメント利益又は損失の調整額△13,330百万円には、内部取引消去1,694百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△15,024百万円が含まれています。全社費用の主なものは、提出会社の基礎研究費です。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。